2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月9日

上場会社名　株式会社 フライングガーデン　　上場取引所　東
コード番号　3317　URL https://www.fgarden.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 野沢 卓史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部長　(氏名) 高木 幸広　TEL 0285-30-4129

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	4,939	8.6	317	△5.1	333	△3.1	202	△3.1
2026年3月期中間期	4,547	13.0	335	29.8	344	27.2	209	28.9

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	70.14	―
2026年3月期中間期	72.37	―

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	5,481	3,821	69.7
2026年3月期	5,405	3,670	67.9

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　3,821百万円　2026年3月期　3,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	18.00	18.00
2027年3月期	―	0.00			
2027年3月期(予想)			―	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	4.3	560	△6.6	580	△8.4	350	△23.0	121.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	2,898,336 株	2026年3月期	2,898,336 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	8,107 株	2026年3月期	8,078 株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	2,890,247 株	2026年3月期中間期	2,890,336 株

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「1.経営成績等の概況　(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間貸借対照表 …… 3
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（重要な後発事象の注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、賃上げや雇用環境の改善により、個人消費は緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、円安の継続による原材料価格等の高騰に加え、中東情勢の緊迫化等によるエネルギー価格の上昇、金利上昇による景気下振れの懸念等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、インバウンド需要の拡大により需要回復の兆しが見られるものの、物価上昇に伴い節約志向が高まることで消費者の選別姿勢が強まり、それに加えて原材料価格、人件費、建築費等、多くのコストの上昇が継続しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境下で、当社は爆弾ハンバーグを中心としたお値打ち感のある商品開発に努め、国産米100%ライスのおかわり自由も引き続き継続し、他社との差別化を図りました。また、創業50周年特別企画として「公式アプリ店舗横断スタンプラリー」を実施し、多くのお客様にご来店いただいております。期間限定メニューとしては８月に「爆ハン＆白なすグリルコンビ」、９月には宇都宮ブレックス応援企画第３弾として「爆ハン・お月見フェア」を販売し、好評をいただきました。デザートでは、毎年恒例となった「奥秩父源泉水氷のかき氷」でVTuberとのコラボメニューを販売したほか、９月には「ぶどうデザート」を販売し、好評をいただきました。

店舗数につきましては、当中間会計期間中に「深谷店」を開店し、「日立川尻店」を閉店いたしましたので、当中間会計期間末の店舗数は、前期末と変わらず59店舗となりました。

当中間会計期間の業績につきましては、依然として厳しい状況ではありましたが、来客数、売上高共に堅調に推移し、売上高は4,939,634千円(前年同期比8.6%増)となりました。

利益面では、売上高は増加したものの、原材料費、人件費の増加等により、当中間会計期間の営業利益は317,980千円(前年同期比5.1%減)、経常利益は333,286千円(前年同期比3.1%減)、中間純利益は202,720千円(前年同期比3.1%減)と、当初計画は上回ったものの増収減益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産の状況）

資産は、前事業年度末と比べ75,227千円増加し、5,481,052千円となりました。主な要因は有形固定資産の増加36,386千円及び売掛金の増加27,377千円によるものであります。

（負債の状況）

負債は、前事業年度末と比べ75,425千円減少し、1,660,030千円となりました。主な要因は未払金の減少133,036千円及び未払法人税等の増加26,998千円によるものであります。

（純資産の状況）

純資産の状況につきましては、前事業年度末と比べ150,652千円増加し、3,821,021千円となりました。これは主として配当金の支払及び中間純利益の計上によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、水道光熱費や原材料価格の高騰に加え、人件費の上昇や米国の関税政策による貿易摩擦、中東・ウクライナ情勢の影響等、まだまだ先行きが不透明な状況が続くと考えております。

2026年５月11日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、今後業績予想の修正が必要と判断される場合は、速やかに公表いたします。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,882	1,745,024
売掛金	264,823	292,201
商品及び製品	8,328	11,234
原材料及び貯蔵品	43,861	54,348
その他	103,886	119,041
流動資産合計	2,154,783	2,221,850
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,485,204	4,480,874
構築物	1,034,937	1,029,246
工具、器具及び備品	441,795	440,872
その他	1,143,565	1,220,982
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,903,449	△4,933,536
有形固定資産合計	2,202,053	2,238,439
無形固定資産	160,433	154,385
投資その他の資産		
差入保証金	238,160	234,249
保険積立金	315,745	315,745
その他	334,648	316,381
投資その他の資産合計	888,554	866,376
固定資産合計	3,251,041	3,259,202
資産合計	5,405,825	5,481,052
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,785	300,873
未払金	511,888	378,851
未払法人税等	88,590	115,588
ポイント引当金	9,860	17,140
賞与引当金	61,200	62,198
資産除去債務	3,869	－
その他	184,198	194,848
流動負債合計	1,150,391	1,069,500
固定負債		
退職給付引当金	156,186	156,456
役員退職慰労引当金	209,764	214,786
資産除去債務	199,583	200,356
その他	19,530	18,930
固定負債合計	585,065	590,530
負債合計	1,735,456	1,660,030

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,026,082	1,026,082
利益剰余金	2,600,849	2,751,545
自己株式	△6,562	△6,605
株主資本合計	3,670,368	3,821,021
純資産合計	3,670,368	3,821,021
負債純資産合計	5,405,825	5,481,052

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,547,300	4,939,634
売上原価	1,545,874	1,767,734
売上総利益	3,001,426	3,171,900
販売費及び一般管理費	2,666,407	2,853,919
営業利益	335,018	317,980
営業外収益		
受取利息	173	2,339
受取賃貸料	19,659	16,664
その他	5,973	6,879
営業外収益合計	25,805	25,882
営業外費用		
賃貸収入原価	16,245	10,191
その他	511	384
営業外費用合計	16,757	10,576
経常利益	344,067	333,286
特別利益		
固定資産売却益	100	545
特別利益合計	100	545
特別損失		
固定資産除却損	6,394	4,847
特別損失合計	6,394	4,847
税引前中間純利益	337,773	328,984
法人税、住民税及び事業税	125,962	115,845
法人税等調整額	2,641	10,419
法人税等合計	128,604	126,264
中間純利益	209,169	202,720

（３）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。